Ｎｏ．３	議席番号	氏　　名	質問事項・要旨及び答弁者
	１	平野　武志	

１．持続可能な教育体制の構築に関する今後の方針について　　教育長

令和７年１０月に就任された西山教育長の地域への深い愛情と情熱に、大きな期待を寄せております。今後、木古内町の教育行政を担われるにあたり、どのような理念や価値観をもって教育行政を推進していかれるのか、いくつかの観点に絞って基本的なお考えをお伺いしたいと思います。

現在、木古内町では少子化と人口減少が進行する中、子育て環境の充実や教育の質の維持・向上が、町の将来を左右する極めて重要な課題となっております。認定こども園の運営の維持、教職員の確保、幼児教育から小・中学校教育へとつながる一貫した学びの構築は、早急に取り組むべき喫緊の課題です。さらに児童生徒数の減少や不登校の実態、専門人材の不足といった現状に対応するためには、地域人材の活用やＩＣＴを活かした新たな教育施策の検討も不可欠と考えます。以上を踏まえ、以下の点についてお伺いします。

（１）教育長としての基本理念および教育ビジョンについて

木古内町の教育行政を推進するにあたり、教育長が特に重視される理念・価値観をお示しください。

また、今後のビジョンとして、「幼児期から中学校卒業まで切れ目のない学びの保障」「子どもを中心に据えた支援体制の強化」といった方向性を、『第８次木古内町教育総合推進中期計画（令和６年度～１０年度)』にどのように位置付けていくのか、あるいは、新たなビジョンで中期計画を再度見直す考えがあるのか考えをお伺います。

以下、項目のみを記載します。

（２）認定こども園の運営の維持と幼児教育の質の向上に向けた取り組みについて

・スタートカリキュラムの制度化やこども園と小学校の合同研修の実施など

（３）教職員の確保と魅力ある教育現場づくりについて

・地域や提携校との連携による教職員（特に若い先生）を支える制度の構築
・部活動地域展開の加速（休日部活動の全面的な地域展開構築）

（４）不登校支援と学びの多様化への対応について

・オンライン適応指導（自宅やサテライト教室でのＩＣＴ学習）

・スクールカウンセラー（ソーシャルワーカー）の配置強化

・個別最適化学習の導入（ＡＩドリル等）

（５）地域人材活用と「地域総ぐるみの教育力」向上に向けた施策について

・退職教員や地域人材による学習サポーター制度の創設

・地域講師による郷土学習や地域産業学習の拡充

上記（２）～（５）についての提案施策については、現状と課題を踏まえて教育長の考えをお伺いします。